

京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書

1. 研究課題

アジアにおける人種主義の連鎖と転換

Chain Reactions and Transformations in the Meanings of Racism in Asia

2. 研究代表者氏名

竹沢泰子

Yasuko Takezawa

3. 研究期間

2016年04月 - 2019年03月

4. 研究目的

従来の人種主義の研究の大半は、非「白人」であるマイノリティ集団を主たる研究対象としてきた。しかし、日本やアジアにおける人種主義は、そのような皮膚の色で分類する単純な構図には収まらない。例えば、「白人」ではない「日本人」が行為体となった場合、身体的に不可視の人々を、自己・他者の差異化によって人種化するプロセスとメカニズムが見受けられる。さらにそのような不可視の人々と「白人」に対する両義的なまなざしが交錯し、アジアにおける人種主義は屈折した複雑性を見せている。本共同研究では、他地域との比較を射程に含めながら、知識人言説、大衆文化、科学言説等を検証し、アジアにおける人種主義の連鎖と意味転換のプロセスとメカニズムを解明する。

5. 研究成果の概要

研究班として、国際シンポジウム「トランスパシフィック日系ディアスポラアート」や「Visibilities and Invisibilities Part II」、またセミナー「人種神話を解体する」出版記念連続セミナー(1巻、2巻、3巻、計12回)などを開催し、研究成果の社会還元を積極的に行った。

出版物としては、本年度中に、1)『環太平洋における移動と人種』(共編)、2) *Amerasia Journal Forum-Trans-Pacific Japanese Diaspora Art* (共編)、3) *Politika Circulations et métamorphose du racisme et de l'antiracisme* (共編) 4) 『人文学報特集号 人種主義と反人種主義の越境と転換』(共編)を刊行する予定である。

6. 共同研究会に関連した公表実績

学術書シリーズ『人種神話を解体する』(編集責任 竹沢泰子)(東京大学出版会、2016

年)・第1巻 齊藤綾子・竹沢泰子編著『In(Visibility):可視性と不可視性のはざままで』・第2巻 坂野徹・竹沢泰子編著『Knowledge:科学と社会の知』・第3巻 川島浩平・竹沢泰子編著『Hybridity:「血」の政治学を越えて』, *Trans-Pacific Japanese American Studies: Conversations on Race and Racializations*, ed. Yasuko Takezawa and Gary Y. Okihiro. University of Hawai'i Press, 2016. 英文学術雑誌特集号 *Japanese Studies* 35:1, Special Issue: Rethinking Race/Racism from Asian Experiences (Koichi Iwabuchi, ed.) . “Human Genetic Research, Race, Ethnicity and the Labeling of Populations: Recommendations based on an interdisciplinary workshop in Japan” (Yasuko Takezawa, Kazuto Kato, Hiroki Oota, Timothy Caulfield et al.) *BMC Medical Ethics*, 2014. 『人文學報』100号(特集:差異の表象)竹沢泰子編、京都大学人文科学研究所、2011年。 *Racial Representations in Asia*, ed. Yasuko Takezawa. Kyoto University Press, 2011. 他、報告書20冊

7. 研究成果公表計画および今後の展開等

論文集(出版社確保済み) フランス国立社会科学高等研究院 雑誌 *Politika* 特集号(フランス語) 人文學報 特集号など